健康増進とふれあい

大岡山ウォーク 2013.2.17 10:00~15:00

銭湯あれこれQ&A



●東京都で一番多いのはどこの区?
⇒大田区（現在51件）。二位は江戸川区。

●東京都のいまの銭湯料金は?
⇒大人(12歳以上)450円･中人(小学生)180円･小人(未就学者)80円。
＊大田区では大人同伴の場合未就学児2名迄無料。

●銭湯の語源は?
⇒諸説あるが、「1銭で湯に入れる」ことから「銭湯」と呼ばれるようになった。ちなみに、当時の1銭は「かけそば1杯」と同じ価格である。

●何で銭湯ができたの?
⇒お金を貰うお風呂が出来たのは、江戸時代。当時は家にお風呂がないので、行水するか、銭湯に行くしかなかった。内風呂が普及したのは昭和30年代。それまでは家にお風呂のある家庭は一部のお金持ちだった。

●東京都内で一番古くからある銭湯はどこ?
⇒今も営業している銭湯で、東京都内では1773年(江戸時代)創業の江戸川区「あけぼの湯」、建物なら昭和6年築の文京区「月の湯」。

●銭湯の外観ってユニーク
⇒東京では、お寺や神社のような外観(宮造り)がたくさん残っている。関東大震災(大正12年)後の大正末期から昭和30年代までにたくさん造られたが、東京近郊以外では殆どみられない。



明神湯(大田区)

●何で銭湯には富士山が描いてあるの?
⇒キカイ湯(廃業)の店主が大正時代に増築の際「風呂嫌いの子どもが喜んで風呂に入れるように」と富士山を描いたのが始まり。これが評判になり、他の銭湯もマネをして東京から地方に広まった。



明神湯(大田区)

●風呂敷ってお風呂に関係あるの?
⇒室町時代には蒸し風呂の床に敷いた布を「平包(ひらづつみ)」といい、「風呂の床に敷く」の意からのちに風呂敷と呼ばれるようになった。江戸時代には入浴道具を包むのに使われた。



☆大田区の街並みを模したエコセン風呂敷

●浴槽のことを湯船(ゆぶね)って言うのはなぜ?
⇒江戸時代には、船で銭湯を営む者がいて、「湯をはった船」で湯船の語源になった。川の水を沸かして、川を使ってどこへでも移動できたので、人気があった。もちろん普通の銭湯もあったが、船の銭湯は普通の銭湯の半額で入浴できた。

●何で番台はみんなの方を向いているの?
⇒泥棒よけや事故防止の為。
＊時代の流れと共に、現在ではフロント形式が主流となっている。



[廃業]朝日湯(大田区)

●「カラン」って何?
⇒簡単に言うと「蛇口」のこと。「鶴の首から頭にかけての形」に似ていることから、オランダ語で「鶴」を意味する「クラーン(KRAAN)」に由来する。工事現場で使うクレーンも同じく「クラーン」に由来する。



第一相模湯(大田区)

●銭湯の看板は?
⇒江戸時代には、弓を飾って、「弓射る」を「湯入る」と読ませて看板代わりにした。また、「わ」や「ぬ」と書かれた板で客に営業時間を知らせた。＊営業中は「わ」と書かれた板を出して「沸(わ)いた」。「お湯が沸いているから営業中」という意味。営業後は「ぬ」と書かれた板を出して「抜(ぬ)いた」。



●銭湯がエコって本当?
⇒銭湯で使う水を人数で割ると、家庭で入浴する場合の半分(湯水使用量1人当たり銭湯40ℓ、家庭風呂80ℓ)を節約できる。

[参考資料]
・「銭湯検定公式テキスト①」
　社団法人日本銭湯文化協会編　監修:町田忍氏、米山勇氏
・「大田区銭湯ジュニアマイスター養成講座レジュメ」
　編集:山崎明彦氏（ジュニアマイスター講師）

八幡浴場（やはたよくじょう）
南千束3-1-13　03-3729-4379
定休日：金（祭日および第5金曜日は営業）
16:00～25:00
東急目黒･大井町線 大岡山駅 より徒歩 5分

★2006年、リニューアル。軟水のお風呂と日替わり薬湯。お風呂のお湯は熱からず、ぬるからず、をモットーに温度設定。また、軟水のお湯も薬湯もお湯に付加価値がついておりますので、大変良く温まると評判です。「薬」「P」

小松湯（こまつゆ）
上池台2-39-7　03-3727-1008
定休日：月 / 16:00～23:00
東急池上線　洗足池駅より徒歩 4分

★地下150mよりくみ上げる黒い水をお客様の要望により脱色し、殺菌消毒して使用しています。また、加熱は薪を使っているので、肌にやさしいお湯になっています。

稲荷湯（いなりゆ）
東雪谷3-30-14　03-3729-4526
定休日：水 / 15:30～24:00
東急池上線　石川台駅より徒歩 7分

★入口には大水槽、フロントにはファインディング･ニモでおなじみのカクレクマノミの水槽が有り、週2回、季節によってレイアウトを変えています。お湯は天然黒湯温泉。「サ」「温」

明神湯（みょうじんゆ）
南雪谷5-14-7　03-3729-2526
定休日：5、15、25日（祭日の場合は翌休）
16:00～23:30
東急バス　雪谷中学校前停留所より徒歩 1分

★昔ながらの宮造りの外観に番台、高い折上天井の脱衣場、ペンキ絵を眺めリラックス。男湯には玉砂利を敷いた庭があり、涼むのもよろしいかと思います。「薬」

久が原湯（くがはらゆ）
久が原2-14-15　03-3754-4452
定休日：4、14、24日（日曜の時は翌休）
15:00 ～24:00（最終受付23:40）
12:00～24:00（日曜のみ）
東急バス　安詳寺前停留所より徒歩 1分

★2011年8月にリニューアル。大田区初の健康増進型銭湯。男女共、スチームサウナ無料、赤外線サウナ200円。提携Pあり。「サ」「温」

益の湯（ますのゆ）
南久が原2-1-23　03-3751-3003
定休日：木 / 16:00～23:00
東急池上線　久が原駅より徒歩 0分

★久が原駅から見える徒歩0分の近さ。60年続く老舗のお風呂屋さんです。脱衣所、洗い場は明るく、広々とした湯船にゆったりつかって毎日の汗と疲れを流してください。黒い温泉のお湯は毎日続けることで、神経痛、やけど、アトピー等は効果が出てきます。「温」

花の湯（はなのゆ）
田園調布南22-11　03-3750-6027
定休日：月 / 15:45～23:30
東急多摩川線　沼部駅より徒歩 5分

★薪で沸かしたやわらかいお湯をお楽しみください。「サ」

調布弁天湯（ちょうふべんてんゆ）
北嶺町10-11　03-3720-4434
定休日：月（祝日の場合は翌休）
15:05～23:30
東急池上線　御嶽山駅より徒歩 1分

★淡褐色の透明感で人気の天然温泉です。「サ」「温」「P」

「サ」:サウナ　「薬」:薬湯　「温」:温泉　「P」:駐車場

大田浴場連合会
http://www.ota1010.com